

数学 (Ⅲ) 九州大学 経済 (経済工)、理、工、農、医 (保健・看護を除く全学科) 歯、薬、芸術工

<全体分析>

試験時間	150分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式

全問記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少)・やや減少・変化なし・やや増加・増加

難易 (易化)・やや易化・変化なし・やや難化・難化

出題の特徴や昨年との変更点

かなり易しくなった。

その他トピックス

2020年度以来、確率が出題された。文理共通問題が2題あった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	空間ベクトル	数学 C	平面と垂直なベクトルと線分の長さの最小値。	やや易
[2]	積分法	数学 III	置換積分法。	やや易
[3]	整数	数学 A	割った余りによる分類。等式を満たす整数の組。	やや易
[4]	三角比	数学 I A	円周角の定理。余弦定理。三角形の面積。	易
[5]	確率	数学 A	さいころの出た目と3次方程式の解の個数についての確率。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題を中心にしっかりと演習を積み重ね、計算力をしっかり高めるだけでなく、さらに、ややレベルの高い発展問題にもチャレンジし、論証問題や融合問題などいろいろな出題に対応できる力を養っておきたい。